



大阪油化工業株式会社

2024年9月期 決算説明資料



東証スタンダード
証券コード:4124

2024年11月14日

1

2024年9月期決算概要

P.03

2

2025年9月期業績予想

P.10



1. 2024年9月期決算概要

連結

売上高

987百万円

前期比20.1%減

営業利益

18百万円

前期比83.8%減

- ◆ 売上高については、
 - ・ 受託蒸留事業において、半導体・電子材料向けの需要の伸び悩みに加え、一部の主要顧客との取引縮小等も影響して減収
 - ・ プラント事業において、引き合いは好調も案件の長期化による後ろずれにより減収の結果、全体では前期比20.1%の減収。
- ◆ 営業利益については、全社的なコスト削減に努めたものの、前期比83.8%の減益。
- ◆ 期初予想（売上高1,240百万円、営業利益70百万円）に対しては未達、修正予想（売上高940百万円、営業利益△30百万円）に対しては上振れで着地。

受託蒸留事業

売上高

874百万円

前期比19.7%減

プラント事業

売上高

112百万円

前期比23.1%減

※ 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高実績に関する内訳は、
 - ・ 研究開発支援 売上高235百万円（23/9期実績：268百万円）
（半導体・電子材料向けの需要の伸び悩みにより減収）
 - ・ 受託加工 売上高639百万円（23/9期実績：820百万円）
（一部の主要顧客との取引縮小等が生じたことにより減収）となったため、事業全体では前期比19.7%の減収。
- ◆ プラント事業については、蒸留装置・ろ過装置に関する引き合いは好調も、案件の長期化による後ろずれの影響により、前期比23.1%の減収。

- ◆ 売上高に関して、前ページに記載のとおりです。
- ◆ 売上原価に関して、取扱い品目の変更に伴う原材料費の低減により、前期比減少。
- ◆ 販管費に関して、全社的なコスト削減に努めた結果、前期比減少。
- ◆ 23/9期は、固定資産除却損並びに子会社ののれん及び顧客関連資産の減損損失を計上。

(単位：百万円)	2023年9月期	構成比 (%)	2024年9月期	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	1,235	100.0	987	100.0	△20.1
売上原価	689	55.8	580	58.9	△15.8
売上総利益	545	44.2	406	41.1	△25.5
販売費及び一般管理費	429	34.8	387	39.2	△9.9
営業利益	115	9.3	18	1.9	△83.8
経常利益	110	9.0	19	2.0	△82.5
特別損失	△118	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失 (△)	△8	△0.7	0	0.0	-
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	△8.38	-	0.06	-	-

- ◆ 資産増減内訳
：売上債権 + 91、棚卸資産 + 65、現預金△51、固定資産△36、その他△29
- ◆ 負債増減内訳
：買掛金 + 72、未払法人税等 + 19、未払金△11、未払消費税等△11、その他△7

(単位：百万円)	2023年9月期	2024年9月期	増減
流動資産	1,051	1,126	75
固定資産	839	802	△36
資産合計	1,890	1,929	38
流動負債	145	206	61
固定負債	7	7	0
負債合計	152	213	61
純資産合計	1,738	1,716	△22
負債純資産合計	1,890	1,929	38
自己資本比率	92.0%	88.9%	△3.0pt.

(単位：百万円)	2023年9月期	2024年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	210	50	△160
税金等調整前当期純利益又は当期純損失（△）	△4	19	23
減価償却費	126	90	△36
売上債権の増減額（△は増加）	23	△91	△115
棚卸資産の増減額（△は増加）	24	△65	△89
仕入債務の増減額（△は減少）	△5	72	77
減損損失	53	－	△53
その他	58	10	△48
法人税等の支払額	△66	△5	61
法人税等の還付額	－	20	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112	△66	45
有形固定資産の取得による支出	△110	△59	50
その他	△1	△5	△4
フリーキャッシュ・フロー	98	△15	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85	△36	49
自己株式の取得による支出	△59	－	59
配当金の支払額	△26	△36	△9
現金及び現金同等物の期末残高	814	762	△51

- ◆ お問い合わせ件数・新規受注件数ともに、前年実績を上回る。
- ◆ ファインケミカル、資源エネルギー、リサイクル関連その他多様な分野からの引き合いが好調。
- ◆ お問い合わせから新規受注に至った成約率は約45%。

(単位：件)	2022/9期	2023/9期	2024/9期
お問い合わせ件数	123	96	105
新規受注件数	49	45	48



2. 2025年9月期業績予想

連結

売上高	1,050百万円 前期比6.4%増	営業利益	70百万円 前期比273.5%増
-----	----------------------	------	---------------------

- ◆ 売上高については、
 - ・受託蒸留事業において、新分野への参画を推進するとともに、高純度化やアップサイクル（高品質・高価値再生）を通じて付加価値を高め、さらなる取引の拡大を図る
 - ・プラント事業において、自社オリジナル装置の拡販、新たな装置の開発による案件獲得に注力することにより、前期比6.4%の増収を見込む。
- ◆ 営業利益については、増収に伴い、273.5%の増益を見込む。

受託蒸留事業
売上高

850百万円
前期比**2.7%**減

プラント事業
売上高

200百万円
前期比**78.6%**増

※ 各セグメントの売上高予想には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高予想に関する内訳は、
 - ・ 研究開発支援 売上高270百万円（24/9期実績：235百万円）
 - ・ 受託加工 売上高580百万円（24/9期実績：639百万円）受託加工については、一部の主要顧客との取引縮小等による影響を踏まえ、減収を見込む。
- ◆ プラント事業については、蒸留装置及びろ過装置の新規引き合いが着実に増加しており、大幅な増収を見込む。

【配当政策】

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対する適切な利益還元を実施していくことを基本方針としております。

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 (予想)
1株当たり配当金	35.0円	35.0円	35.0円
配当性向	—	58,021.9%	73.1%

- ◆ 2024年9月期における配当については、1株当たり35円といたしました。
- ◆ 2025年9月期における配当についても、1株当たり35円を見込んでおります。
- ◆ なお、中期経営計画期間（2025年9月期～2027年9月期）の配当について、配当性向30%以上、かつ1株あたり35円を下限とし、今後も安定的な配当を実施していく方針です。



技術と経験を武器にプロジェクトを完遂する、
精密蒸留専門化学メーカー



<お問い合わせ先>

大阪油化工業 業務部

(IRお問い合わせフォーム)

<https://www.osaka-yuka.co.jp/contact/ir-form/>

<本資料取扱上の注意点>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。